

これからの京都市は下京から変わります!

本年秋の芸大移転を契機に、京都駅東部エリアは文化・芸術を基軸とした一大拠点に発展! またクリエイティブタウン化を目指す西部エリアには、梅小路京都西駅開業や市場再整備をはじめとした賑わいに加え、「イノベーションの聖地になりうる」と世界が注目する再開発が進んでいます。これから更に大きく変化する下京区! 今こそ取り組むべき重要な成長戦略だと確信している西山は、市議員時代から計画を力強く推進してきました。世界で戦いうる下京のポテンシャルを活かした経済の活性化で、西山が京都を大きく変えていきます!



京都駅西部エリア

梅小路周辺の賑わい施設の集積
京都リサーチパーク等の
創業イノベーション拠点



京都駅東部エリア

京都芸大移転を契機とした
文化芸術を基軸のまちづくり

物価高から 市民の生活を守り抜く!

●国・府・市のネットワークを活かせる西山だから実現できる

昨年から続く物価高騰。愛用の自転車で区内を駆けずり回り、皆さまの声を受け止めてきた西山は、家計の負担を減らすべく公明党の強力なネットワークを活かし、具体的な結果を出してきました。

●電気・ガス・燃料費の負担を軽減(9ヶ月総額約45,000円)

本年1月使用分の電気・ガス代から、標準的な家庭で毎月「約3,700円」が値引きされます(軽減額は請求書等に明示)。新聞各紙も「評価する70%」(朝日)「インフレが抑制される」(産経)など評価。西山は、生活を圧迫する物価高から市民の皆さまを守り抜いていきます。



夕食準備の様様



娘と京都マラソン



魚さばき方教室に参加



妊婦体験



FJKの活動
(ファザーリング・ジャパン関西)

子育て支援

●子どもの通院医療費 月200円を「小6」まで拡充! 政令市トップレベルに!

これまで「3歳未満」が対象だった通院医療費を月200円に抑える助成制度。西山がリードする公明党の主張が実り、本年秋から「小学6年以下」まで拡充することが決まりました。



●子育て応援トータルプランをリード!

・児童手当の「生みの親」「育ての親」!!

児童手当は、かつて政財界などの反対を公明党が説得して実現してきた、いわば「生みの親」。さらに、対象の拡充に粘り強く取り組んできた「育ての親」でもあります。

昨年発表した「子育て応援トータルプラン」では「18歳までの対象拡大」や「所得制限の撤廃」などを掲げています。西山は、ライフステージに応じた支援強化を力強くリードしていきます!

・全員制の中学校給食実施を!!

公明党の子育て応援トータルプランの発表以降、子育て支援の充実が急加速しています。京都市でも経費等の課題から慎重に議論を重ねてきた全員制の中学校給食に関し、実施を視野に入れた調査費が令和5年度予算案に計上されました。西山のぶまさも実現に向けて全力を尽くしてまいります。



子育ての知りたい情報や相談窓口など、下京区地域の幅広い情報を手軽に入手できるサイトです! ぜひ活用ください。

下京子育て応援情報

検索

ウェブサイト



西山の主張で 区役所に「子どもはぐくみ室」を設置

福祉事務所と保健センターに分かれていた各区の子ども窓口は、西山の主張で「子どもはぐくみ室」として一元化。ワンストップで質の高い窓口サービスが提供できるようになり、情報発信にも工夫されています。

人生100年時代への挑戦!

【アクティブシニア】 役所で約20年、福祉に携わってきた経験を活かし、アクティブシニア(元気で活動的なシニア)への政策提言など重ねてきた西山。超高齢化社会対策は最重要テーマ。



【認知症対策】 認知症患者への支援を強化してきた西山。当事者や家族を手助けする「認知症サポーター」の養成をはじめ、安心して暮らしつつげられる街づくりに努めてきました。

【デジタルデバイド】 高齢者や障がい者などデジタルに不慣れな人を手助けする「デジタル推進委員」の配置拡大を推進し、「誰一人取り残さない」デジタル社会を目指しています。

【西山のぶまさプロフィール】

公明党京都府青年局長・下京支部長／行政書士・防災士・FJK(ファザーリング・ジャパン関西)会員。50歳。合指症で今も右手に障がいを持つ。関西大学法学部卒。前京都市会議員。2019年3,424票いただくも6票差で惜敗。妻と1女の3人家族。趣味は料理、カラオケ。



●西山のぶまさホームページ

<http://www.nishiyama-massugu.net/>



友だち募集中!
スマホで登録!



Facebook



Twitter



Instagram

西山のぶまさ

検索